

～平成19年度土砂災害に対する全国統一防災訓練の実施報告について～

去る5月17日(日)、平成18年度に土砂災害が発生した中城村安里地区において、土砂災害避難体制を図ることを目的に、安里区住民、中城村、沖縄県、沖縄総合事務局、警察署、消防署、沖縄気象台等、住民37名、行政関係者約100名の参加のもと、「土砂災害に対する全国統一防災訓練」を実施しました。

訓練では、台風時の大雨による地すべり発生を想定して、土砂災害警戒情報を活用した避難勧告及び災害発生に伴う被害状況等の報告の情報伝達訓練、避難勧告等発令から避難所までの行動及び消防団等による災害時要援護者の避難支援等の避難訓練、防災ヘリコプターからの避難状況及び被災状況について沖縄県及び中城村災害対策本部へ映像情報の配信訓練を行いました。

近年、台風や集中豪雨により土砂災害が発生していることから情報伝達手段の確立、土砂災害警戒情報を活用した避難勧告の発令、災害時要援護者を主体とした住民避難、避難所・避難経路の安全確認等を行い、今年の水期に備えた警戒 避難体制の整備を図ります。



現地対策本部



災害対策会議状況



情報伝達訓練(災害対策室)



ヘリテレ画像伝送訓練(無線室)



避難状況(住民をバスへ誘導し避難所へ)



避難状況(防災ヘリからの映像)



被災現場状況(防災ヘリからの映像)